



【G-Bendamustine①1コース目減量・休薬・中止基準】

J Clin Oncol 2018;36:2259-66. プロトコール. トレアキシン点滴静注液 2022年2月改訂(第4版).

減量	トレアキシン
開始量	90mg/m <sup>2</sup>
1段階	60mg/m <sup>2</sup>
2段階	中止

ガザイバ及びトレアキシンの休薬、減量、中止基準

有害事象	Grade	用量調整
好中球数減少	3	Grade2以下になるまでガザイバ及びトレアキシンを休薬する。
	4	Grade2以下になるまでガザイバ及びトレアキシンを休薬し、再開時にはトレキアキシンを1段階減量する。
貧血	3	Grade2以下になるまでガザイバ及びトレアキシンを休薬する。
	4	Grade2以下になるまでガザイバ及びトレアキシンを休薬し、再開時にはトレキアキシンを1段階減量する。
血小板数減少	2~3	Grade1以下になるまでガザイバ及びトレアキシンを休薬する。
	4	Grade1以下になるまでガザイバ及びトレアキシンを休薬し、再開時にはトレキアキシンを1段階減量する。
注入に伴う反応	2	症状が消失するまで投与を中断し、適切な処置を行う。症状改善後、投与中断前の半分以下の速度で再開する。その後、注入に伴う反応がなければ下記速度で投与できる。注入に伴う反応発現時、1コース目の速度で投与していた場合、30分毎に50mg/hずつ、最大400mg/hまで。2コース目以降の速度で投与していた場合は、最大900mg/hまで。
	3	症状が消失するまで投与を中断し、適切な処置を行う。症状改善後、投与中断前の半分以下かつ400mg/h以下の速度で再開できる。その後、注入に伴う反応がない場合は、30分毎に50mg/hずつ、最大400mg/hまで上げることができる。しかし、再びGrade3が再発した場合は、投与を中止する。
	4	中止
	3~4	Grade1以下になるまでガザイバ及びトレアキシンを休薬し、再開時にはトレキアキシンを1段階減量する。
非血液毒性	2	Grade1以下になるまでガザイバ及びトレアキシンを休薬する。
	3~4	Grade1以下になるまでガザイバ及びトレアキシンを休薬し、再開時にはトレキアキシンを1段階減量する。